

山形県社会科研究会では、令和四年度以降の研究主題や重点、研究内容の構築に取り組んでいます。庄内・最上・村山・置賜の県内四地区から今後の社会科教育を担う先生方を選び、研究部会を組織し、ICTによる社会科研究会のネットワーク化により、持続可能な山形県社会科教育の振興を図ります。今後の研究主題を「社会とのつながり」を感じ、よりよい社会を創造していく力を育てる社会科学習」と定め、自分と社会的事象との結び付きへの気付きや関わりを深め、社会に働きかける実践力を育むことを目指します。これは、小中学校が連携し、長期的な見通しをもち実践を重ねて培われるものと考えます。小中学校の連携を推進し、それぞれが同じ方向性のもとで授業づくりと実践、授業公開を行うことを通して、社会的な見方・考え方をくり返し働かせ目指す力の育成を図りたいと思います。

山形県の取組

山形県社会科研究会
会長 武田 喜好

各都道府県の動向

山形県・千葉県・福井県・高知県・佐賀県

千葉県

「千葉県の取組」

千葉県教育研究会社会科教育部会
会長 山根 達哉

山形県社会科研究会では、令和四年度以降の研究主題や重点、研究内容の構築に取り組んでいます。庄内・最上・村山・置賜の県内四地区から今後の社会科教育を担う先生方を選び、研究部会を組織し、

ICTによる社会科研究会のネットワーク化により、持続可能な山形県社会科教育の振興を図ります。今後の研究主題を「社会とのつながり」を感じ、よりよい社会を創造していく力を育てる社会科学習」と定め、自分と社会的事象との結び付きへの気付きや関わりを深め、社会に働きかける実践力を育むことを目指します。これは、小中学校が連携し、長期的な見通しをもち実践を重ねて培われるものと考えます。小中学校の連携を推進し、それぞれが同じ方向性のもとで授業づくりと実践、授業公開を行うことを通して、社会的な見方・考え方をくり返し働かせ目指す力の育成を図りたいと思います。

福井県

「福井県の取組」

福井県小学校教育研究会社会部会
部長 山本 智広

本県では、研究主題を「未来に生きる資質・能力を育む社会科教育」と設定し、①ふるさと福井について考える学びの推進。②よりよい価値判断を追究できる単元を通した学びの構築。③社会認識を深めるための対話的な学びの展開。④一人一人が学びを実感し、活用できる振り返りの工夫。以上、四つの内容に留意しながら研究に取り組んでいます。

令和二年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためにナウイルス感染拡大のため、書面による開催といたしました。今年度は南房総地区の君津支会において、八月に宿泊研修会を開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大のため、書面による開催といたしました。

当初は、通常開催に向け、一日半の日程で開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、次のように開催形態を変更しました。

《全小社研ホームページアドレス》 <http://www11.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1350007>
『全国小学校社会科研究協議会』で検索してください。

高知県

「高知県の取組」

高知県社会科教育研究会
会長 伊藤 浩昭

本県には、映画「竜とそばかすの姫」のモデルとなつた清流仁淀川や豊かな自然があり、人々はその恵みを生かしてたくましく生き抜いてきました。そんな風土もあり、県社研はこれまで人権や環境を切り口に地域教材の開発を重ねてきました。

令和二年大会の「人々の営みに学び、未来を切り拓く力を育てる社会科学習」を研究主題に、一人一人が問い合わせ持ち、自分ごとに表現し合いながら社会認識を深め、課題解決に進んでいく授業研究に取り組んでいます。そして、第四十三回四国社会科教育研究大会高知大会を、高知市立昭和小学校において、十月十五日に開催し、成果を発表しました。

これまで昨年度の神奈川大会・福岡大会、本年度の大坂大会を参考にさせていただきながら、準備を進めているところです。

佐賀県

「佐賀県の取組」

佐賀県小学校教育研究会社会科部会
会長 平田 陽介

佐賀県では、令和三年度全国小学校社会科研究協議会研究大会を令和四年一月二十八日に佐賀市におきまして開催いたしました。

これまで昨年度の神奈川大会・福岡大会、本年度の大坂大会を参考にさせていただきながら、準備を進めているところです。

山形県

「山形県の取組」

山形県社会科研究会
会長 武田 喜好

山形県社会科研究会では、令和四年度以降の研究主題や重点、研究内容の構築に取り組んでいます。庄内・最上・村山・置賜の県内四地区から今後の社会科教育を担う先生方を選び、研究部会を組織し、

ICTによる社会科研究会のネットワーク化により、持続可能な山形県社会科教育の振興を図ります。今後の研究主題を「社会とのつながり」を感じ、よりよい社会を創造していく力を育てる社会科学習」と定め、自分と社会的事象との結び付きへの気付きや関わりを深め、社会に働きかける実践力を育むことを目指します。これは、小中学校が連携し、長期的な見通しをもち実践を重ねて培われるものと考えます。小中学校の連携を推進し、それぞれが同じ方向性のもとで授業づくりと実践、授業公開を行うことを通して、社会的な見方・考え方をくり返し働かせ目指す力の育成を図りたいと思います。

千葉県

「千葉県の取組」

千葉県教育研究会社会科教育部会
会長 山根 達哉

本県では、県下十六支会が県の研究主題「よりよい社会の実現に寄与する『生きる力』」を培う社会科学習」の下、地域の実態を加味した主題を設定し、授業研究や巡査などを実施して主題に迫るようにしています。

また、支会持ち回りで研究大会と宿泊研修会を隔年実施し、実践提案を基にした議論を通して本会の主題解明、及び各支会の特色ある活動の情報共有をしています。また、大会運営が支会内の研究レベルを高める機会ともなっています。

令和二年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためにナウイルス感染拡大のため、書面による開催といたしました。

令和二年大会の「人々の営みに学び、未来を切り拓く力を育てる社会科学習」を研究主題に、一人一人が問い合わせ持ち、自分ごとに表現し合いながら社会認識を深め、課題解決に進んでいく授業研究に取り組んでいます。そして、第四十三回四国社会科教育研究大会高知大会を、高知市立昭和小学校において、十月十五日に開催し、成果を発表しました。

これまで昨年度の神奈川大会・福岡大会、本年度の大坂大会を参考にさせていただきながら、準備を進めているところです。

福井県

「福井県の取組」

福井県小学校教育研究会社会部会
部長 山本 智広

本県では、研究主題を「未来に生きる資質・能力を育む社会科教育」と設定し、①ふるさと福井について考える学びの推進。②よりよい価値判断を追究できる単元を通した学びの構築。③社会認識を深めるための対話的な学びの展開。④一人一人が学びを実感し、活用できる振り返りの工夫。以上、四つの内容に留意しながら研究に取り組んでいます。

令和二年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためにナウイルス感染拡大のため、書面による開催といたしました。今年度は南房総地区の君津支会において、八月に宿泊研修会を開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大のため、書面による開催といたしました。

令和二年大会の「人々の営みに学び、未来を切り拓く力を育てる社会科学習」を研究主題に、一人一人が問い合わせ持ち、自分ごとに表現し合いながら社会認識を深め、課題解決に進んでいく授業研究に取り組んでいます。そして、第四十三回四国社会科教育研究大会高知大会を、高知市立昭和小学校において、十月十五日に開催し、成果を発表しました。

高知県

「高知県の取組」

高知県社会科教育研究会
会長 伊藤 浩昭

本県には、映画「竜とそばかすの姫」のモデルとなつた清流仁淀川や豊かな自然があり、人々はその恵みを生かしてたくましく生き抜いてきました。そんな風土もあり、県社研はこれまで人権や環境を切り口に地域教材の開発を重ねてきました。

令和二年大会の「人々の営みに学び、未来を切り拓く力を育てる社会科学習」を研究主題に、一人一人が問い合わせ持ち、自分ごとに表現し合いながら社会認識を深め、課題解決に進んでいく授業研究に取り組んでいます。そして、第四十三回四国社会科教育研究大会高知大会を、高知市立昭和小学校において、十月十五日に開催し、成果を発表しました。

佐賀県

「佐賀県の取組」

佐賀県小学校教育研究会社会科部会
会長 平田 陽介

佐賀県では、令和三年度全国小学校社会科研究協議会研究大会を令和四年一月二十八日に佐賀市におきまして開催いたしました。

これまで昨年度の神奈川大会・福岡大会、本年度の大坂大会を参考にさせていただきながら、準備を進めているところです。

山形県

「山形県の取組」

山形県社会科研究会
会長 武田 喜好

山形県社会科研究会では、令和四年度以降の研究主題や重点、研究内容の構築に取り組んでいます。庄内・最上・村山・置賜の県内四地区から今後の社会科教育を担う先生方を選び、研究部会を組織し、

ICTによる社会科研究会のネットワーク化により、持続可能な山形県社会科教育の振興を図ります。今後の研究主題を「社会とのつながり」を感じ、よりよい社会を創造していく力を育てる社会科学習」と定め、自分と社会的事象との結び付きへの気付きや関わりを深め、社会に働きかける実践力を育むことを目指します。これは、小中学校が連携し、長期的な見通しをもち実践を重ねて培われるものと考えます。小中学校の連携を推進し、それぞれが同じ方向性のもとで授業づくりと実践、授業公開を行うことを通して、社会的な見方・考え方をくり返し働かせ目指す力の育成を図りたいと思います。

千葉県

「千葉県の取組」

千葉県教育研究会社会科教育部会
会長 山根 達哉

本県では、県下十六支会が県の研究主題「よりよい社会の実現に寄与する『生きる力』」を培う社会科学習」の下、地域の実態を加味した主題を設定し、授業研究や巡査などを実施して主題に迫るようにしています。

また、支会持ち回りで研究大会と宿泊研修会を隔年実施し、実践提案を基にした議論を通して本会の主題解明、及び各支会の特色ある活動の情報共有をしています。また、大会運営が支会内の研究レベルを高める機会ともなっています。

令和二年度は、新型コロナウイルス感染症拡大のため、書面による開催といたしました。

令和二年大会の「人々の営みに学び、未来を切り拓く力を育てる社会科学習」を研究主題に、一人一人が問い合わせ持ち、自分ごとに表現し合いながら社会認識を深め、課題解決に進んでいく授業研究に取り組んでいます。そして、第四十三回四国社会科教育研究大会高知大会を、高知市立昭和小学校において、十月十五日に開催し、成果を発表しました。

福井県

「福井県の取組」

福井県小学校教育研究会社会部会
部長 山本 智広

本県では、研究主題を「未来に生きる資質・能力を育む社会科教育」と設定し、①ふるさと福井について考える学びの推進。②よりよい価値判断を追究できる単元を通した学びの構築。③社会認識を深めるための対話的な学びの展開。④一人一人が学びを実感し、活用できる振り返りの工夫。以上、四つの内容に留意しながら研究に取り組んでいます。

令和二年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためにナウイルス感染拡大のため、書面による開催といたしました。今年度は南房総地区の君津支会において、八月に宿泊研修会を開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大のため、書面による開催といたしました。

令和二年大会の「人々の営みに学び、未来を切り拓く力を育てる社会科学習」を研究主題に、一人一人が問い合わせ持ち、自分ごとに表現し合いながら社会認識を深め、課題解決に進んでいく授業研究に取り組んでいます。そして、第四十三回四国社会科教育研究大会高知大会を、高知市立昭和小学校において、十月十五日に開催し、成果を発表しました。

高知県

「高知県の取組」

高知県社会科教育研究会
会長 伊藤 浩昭

本県には、映画「竜とそばかすの姫」のモデルとなつた清流仁淀川や豊かな自然があり、人々はその恵みを生かしてたくましく生き抜いてきました。そんな風土もあり、県社研はこれまで人権や環境を切り口に地域教材の開発を重ねてきました。

令和二年大会の「人々の営みに学び、未来を切り拓く力を育てる社会科学習」を研究主題に、一人一人が問い合わせ持ち、自分ごとに表現し合いながら社会認識を深め、課題解決に進んでいく授業研究に取り組んでいます。そして、第四十三回四国社会科教育研究大会高知大会を、高知市立昭和小学校において、十月十五日に開催し、成果を発表しました。

佐賀県

「佐賀県の取組」

佐賀県小学校教育研究会社会科部会
会長 平田 陽介

佐賀県では、令和三年度全国小学校社会科研究協議会研究大会を令和四年一月二十八日に佐賀市におきまして開催いたしました。

これまで昨年度の神奈川大会・福岡大会、本年度の大坂大会を参考にさせていただきながら、準備を進めているところです。

《全小社研ホームページアドレス》 <http://www11.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1350007>
『全国小学校社会科研究協議会』で検索してください。